

中国の動向をお届けします。



北京通信



vol.12

福井商工会議所主査(中国日本商会 出向)

藤原 卓也

物流を支える電動自転車

インターネットショッピングが普及する北京市

去る11月11日は若者の間で「独身者の日」と呼ばれ、ネット通販大手のアリババが自社のインターネット（以下、ネット）通販サイト「天猫」にて大掛かりなセールを開催することで知られる。報道によると、アリババは今年の同日セールで1207億元（約1.8兆円）を超える売上を獲得したという。

中国では若者を中心にネットショッピングが広く普及している。中国人の友人に聞くと、家まで届けてくれる、金額が安い等の理由から衣料品や日用品はネットで購入し、高級品や嗜好品は偽物を掴まされないようデパートで購入するとのことであった。

物流には電動自転車が活躍

ネットショッピングが広まった背景には、電動自転車による物流網の整備と、スマートフォン等のモバイル端末の普及が考



昼時に出前を運ぶ電動自転車

えられる。市内には電動自転車を利用して荷物を運ぶ業者の姿が日常的に見受けられる。

電動自転車と言っても日本の原付バイクに近く、免許がいらないにも係わらず時速30〜40キロのスピードで走行できる。トラックでは乗り入れが難しい入り組んだ場所のオフィスや居住地に簡単に荷物を運ぶことができ、交通渋滞や人口過密が進む北京市の物流を支える重要な乗り物である。

ネットでの買い物という意味で、筆者は食事の出前をネットで行う飲食店は多いが、北京の出前の良いところはネットで注

文が出来、かつ宅配料金が安い点である。ここでも電動自転車が活躍しており、平日のお昼時になるとオフィスビルの周りに出前用の電動自転車が止まっているのを見かける。北京市民にとっては欠かせないサービスの一つと言えるだろう。

規制が強まる電動自転車

便利な乗り物である電動自転車だが、安全面に課題もある。自転車レーンを逆走する等の危険走行が見受けられるほか、筆者の経験では運転時非常に静かなため接近していることに気づかず接触しそうなことが度々ある。このような理由から規制強化の傾向にあり、今年になって市内の一部大通りでは電動自転車の通行が禁止になった。今後同様の取り締まりが加速すれば、筆者の食を支える大事な出前サービスにも影響が及ぶのではないかと気を揉んでいる。

中国日本商会へのお問い合わせは・・・
福井商工会議所 会員サービス課

TEL 0776(33)8254